

学校評議員による 平成29年度学校評価

熊本県立熊本工業高等学校

学校評価は、教育の質の保証、学校運営の改善、開かれた学校づくりのために行うもので、この結果をもとに、本年度の学校教育を反省し、来年度に向けて改善に繋げていくために活用していきます。

回答は、各設問に対し1～5に○印をつけてもらいました。

「1 そう思う」「2 まあまあそう思う」「3 あまりそう思わない」「4 まったく思わない」「5 判断できない」

数字は5名の評議員による回答数

	評 価 項 目	1	2	3	4	5
1	学校の教育目標は達成されている。	4	1	0	0	0
2	工業高校として、地域の期待に応える学校づくりに努めている。	4	1	0	0	0
③	社会に対応できる学力の充実に努めている。	3	2	0	0	0
④	学校は生活指導をととして、基本的生活習慣の確立に努めている。	3	2	0	0	0
5	学校は生徒の進路指導を適切に行っている。	4	0	1	0	0
⑥	学校教育に必要な施設・設備は整っている。	3	2	0	0	0
⑦	学校はきちんと整備され、環境美化が良くされている。	3	2	0	0	0
⑧	学校の教育活動を地域に伝えている。 ←	2	2	1	0	0
9	学校は他の学校にない特色がある。	4	1	0	0	0
10	生徒の登下校の服装は整っている。	4	1	0	0	0
11	生徒は明るく挨拶するなど健全に成長している。	4	1	0	0	0
12	生徒は思いやりの心や優しい心が育っている。	4	1	0	0	0
⑪⑬	生徒は社会で通用するルールや交通ルールを遵守している。 ←	2	2	1	0	0
14	生徒は必要に応じ、素直に地域の人達の指導を受け入れている。	3	2	0	0	0
15	生徒は地域の方々に、好印象を与えている。	4	1	0	0	0
①⑥	生徒は持っている力を十分発揮し、自己目標に向けて努力している。	3	2	0	0	0
①⑦	生徒は部活動や生徒会活動に積極的に参加している。	3	2	0	0	0
18	本校の教職員は生活指導に熱心である。	5	0	0	0	0
19	本校の教職員は服装等公務員としての自覚がある。	5	0	0	0	0
20	本校の教職員は公務員としての言葉遣いや心配りができている。	5	0	0	0	0

【御意見、提言、感想等】

- ◆交通ルールでは、特に自転車のルールをきちんと指導してほしい。
- ◆工業分野の発展はスピードが速く、教育施設・設備の近代化を切に希望します(興味・感心の喚起)。
- ◆多能職化を強いられる教育現場では、多くの御苦労がおりかと思ひます。昨今、特に部活動の議論が活発化していますが、精神面・体力面を鍛錬する機会は重要と思ひます。
- ◆中学校でもSNSに関するトラブルが増加しています。生徒への指導はもちろん保護者への対応も必要であり、難しい問題です。警察からの講話等も実施しているところですが。
- ◆キャリア教育の部分で、この学校の特徴ともいえる「ものづくり教育」は、適切になされていると思ひますが、《グローバル教育の推進》に関しては、もっと力を入れて欲しいと思ひました。
- ◆心と体の健康の必要性も強く感じており、学校保健委員会等の外部との連携も図っていくことが大切と思ひます。
- ◆少子高齢化社会へ向かっている日本、そして熊本で働くには、移民、特にアジアからの移民問題を避けて通ることはできない時代へ入っていきます。『多文化共生』の時代はもう目の前に迫っています。そういう社会で働くことになる次世代の若者たちへの《グローバル教育》は重要課題ですので、この部分への教育推進は、教師自身の研修がもっと十分になさるべきなのではと思ひました。
- ◆自己評価総括表を読む限りでは、『障がい者や外国ルーツの子供たちに対する理解を深めることができた。』とありますが、『異文化理解や多文化共生』への知識と理解と共感、これから未来の社会を担う若者たちにとっては必須の事柄なので、もっと推進してほしいと思ひます。
- ◆評価アンケートで教師・生徒・保護者ともに良好な結果を見ても三者が協力して学校を盛り上げ、勢いのある学校にしていると思ひます。「わかりやすい授業ができている」こともすばらしく、入学志願倍率県内一にもつながっています。
- ◆先生方も生徒さんもプライドを持ってよく頑張っている。
- ◆現在の分析では、生徒指導だけでこれ以上のアップを望むことは限界があると感じる。
- ◆既に努力しているとは思ひが、更なる効果を期待するなら
 - ① 先生方が生徒と一緒に汗をかく授業や学校行事に取り組む。
 - ② 「一流のところに一流の空気が流れている。」熊工は、一流であるプライドを生徒に持たせることを考える。
- ◆昨年と同様に、学術や生活一般に対する心構えなどについて、先生方の生徒指導に対する熱い努力を感じます。
- ◆定時制の生徒が保育園訪問時、先生方が一人ひとり丁寧に接して下さっている事、大切に下さっている事が生徒との会話・態度から感じられます。中学校では不登校の生徒が5%以上います。自信をもって卒業していく姿をみるのはうれしいです。